

未来へつながる確かな安心をお届けします

# 肥後保険企画

2026年5月165号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>



日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

いつもありがとうございます。  
こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。

▼断れない人には嫌われたくないという思い込みがあります。真面目で良い人と言われる人ほど、関係を壊したくない、評価を下げたくない、空気を悪くしたくないという気持ちが強くなるようです。

▼断れない人は他人の時間には敏感なのに、自分の時間を軽く扱っています。頼まれたらすぐ引き受ける。空き時間は使って良い時間だと思っていて、「ちょっとだけなら」と安請け合いをします。誰かの依頼を受けるということは、必ず何かを捨てているということなんです。この認識がないと、断る判断はできません。

▼かつては「残業してでも…」が美德でしたが、今は「限られた時間で良いものを」が求められる時代です。断る事は関係を壊すことではありません。むしろ正しく断ることが、仕事の質を守り、信頼を築き、自分らしい働き方を実現してくれるのです。

▼今月から営業部に新入社員が入社しました。AIGの狭き門である5年間のICA社員制度を見事クリアしたのち、弊社への仲間入りを選択しての入社です。

▼即戦力として期待の新人です。お伺いの際はご指導のほどよろしく願います！



森龍成です



## スマイルびより

事務スタッフの  
コラムをお届けします



こんにちは！事務スタッフの吉村です。長崎県出身40歳、熊本県在住歴13年になります。熊本の好きなのところは沢山ありますが、私の一番愛しているものは…「蜂楽饅頭」です！何度食べても飽きることのない、たまに無性に食べたくなる、魅惑の「蜂楽饅頭」。これを知ることが出来ただけでも、熊本に来てよかったー！と思うくらい、大大大ファンです。

両親も「蜂楽饅頭」が大好きで、帰省の定番お土産です。ちなみに私は白あん派です♪どっちも好きですが、「白と黒、どっちが好き？」という会話からのコミュニケーションもまた、楽しみの一つとなっています。お土産や差し入れとしても喜ばれますし、冷めても勿論美味しいのですが、出来立てはもう格別です。これからも、私は一生「蜂楽饅頭」を推し続けます！！



上通店のくまモン☆

## ALL About The ぽけん

今回は、損害保険市場の変化について触れてみましょう。海上保険から始まった日本の損害保険ですが、現在の損害保険会社の収入保険料に占める海上保険の割合はわずか3%弱にすぎません。割合が最も大きい種目は自動車保険で、自賠責保険と合わせると、全体の約5割を占めています。

日本で初めて自動車保険が登場したのは大正時代の1914年。当時の自動車保険は、主に財産としての自動車を守るためのものでした。

戦後の高度成長とともに自動車が本格的に普及し、それとともに交通事故も増えてきます。自動車保険は自分が加害者となった場合の損賠賠償責任への備えとして重要なものとなりました。

70年代には収入保険料に占める自動車保険の割合が5割となり、現在に至っています。





# 野生動物被害は保険の対象？

## 補償範囲や内容確認



道路で車が動物と接触し死なせてしまう「ロードキル」。国土交通省によると、直轄国道で起きたものだけで年間7万件以上、高速道路では5万件以上にのぼるそうです。多くはタヌキなどの小型動物との接触ですが、イノシシやシカなどの大型動物とも一定割合で起きています。こうした衝突では車体に大きな損害を受けかねません。

自動車保険に車両保険を付帯していれば、保険会社が被害状況を確認したうえで、車両の損害に応じて保険金が支払われます。ただ、補償範囲が広い「一般車両」ではなく、範囲を限定した「エコノミー」を選んでい



る場合、対象外のこともあるので注意が必要です。契約内容に動物との衝突による損害が含まれるかどうかを確認しておくといいでしょう。

環境省が公表した昨年のクマによる人身被害によると、被害人数は230人でうち死亡者は13人。野生動物に襲われてけがや死亡してしまった場合は、加入している傷害保険や生命保険から保険金が支払われます。

最近よく聞くようになった野生動物による損害。どの程度まで補償対象になるのかは、発生したケースによって判断されます。被害にあわないことが一番ですが、万一の備えとして加入している保険の内容を改めて確認しておきたいものです。



## 肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回は趣を少し変えての登山の楽しみ方をお伝えします。

私の生まれ故郷の久留米に明星山という山があります。熊本の金峰山的な山で市民に愛されている山です。そこにムササビロードと呼ばれる登山道があるのです。ムササビが棲息しているわけではなく、その明星山と近くに白金山と高根山という山があり、この3座の約10kmを周回縦走すると、その歩いた軌跡がムササビが飛んでいる時の姿に似ているということで、この名が付けました。登山道がたくさんあるのでしっかりルートを確認して歩かないと完成しません。



ムササビロードの軌跡

登山アプリのお陰で登山の楽しみ方が増えています。アプリの使い方ひとつで同じ山でも全く違う楽しみ方ができるようになったのはうれしい限りですね。

## ウェルビーイング推進事務局より



会社前の白川公園は、緑豊かで季節の移ろいを感じられる市民の憩いの場です。桜が綺麗だったので、同僚とお花見ウォーキングをしてきました。

おしゃべりしながら歩くのは楽しく良い気分転換になります。それにオフィスのすぐ側に美しい自然があることはとても贅沢に感じます。

環境省HPによると森林浴には健康効果があり、がんやウイルスから体を守る「NK細胞」が都市部に比べて8.2%活性化した、森林を眺めるだけでもストレスホルモンが13%減少したり、森林の香りや鳥のさえずりによるリラクゼーション効果もあるそうです。自然の力ってすごいですね。気持ち良い季節なので自然の中に出かけたくまりました。そんな時間が無い!という方に朗報です。なんと、花の画像を見るだけでもストレスホルモンが21%現象するそうですよ!



白川公園の桜

### 学習する組織 システム思考で未来を創造する



本書はノウハウ集ではありません。むしろ「あなたの組織は、本当に学習しているか？」と問いかけてくる鏡のような一冊です。

本書の核心は「学習する組織」とは、管理する組織ではなく、気づきを促す組織であるという点で、経営者の役割は正解を与えるのではなく、「問いを設計すること」「対話の質を上げること」「振り返りを仕組みにすること」「ヘシフトすること」で、従来のコントロール型マネジメントとは真逆の考え方もいえます。

著者のピーターセンゲは、組織が成長しない原因は、人材の問題に見えて、実は構造の問題、組織の仕組みそのものではないかと問いかけています。つまり、今起きている現象は「設計通り」に起きているという点で、経営者にとっては耳の痛い話です。

### 乱読コーナー